



東陵



福岡県立嘉穂東高等学校同窓会報

第20号

発行/平成29年10月

飯塚市立岩1730の5
嘉穂東高等学校同窓会

トビ
ギ
ン
ニ
!!

フ
フ
フ

イラスト提供
江頭 猛(高36回生)





ごあいさつ

同窓会 会長

藤江 文雄 (高9回生)

猛暑や天候不順に、またひどい天災に翻弄された今夏でしたが、朝夕の風に秋の訪れを感じるこの頃になりました。同期の皆さん方におかれましては恙なく日々をお過ごしのことと存じお慶び申し上げます。

『さて、母校の同窓会総会及び懇親会が10月21日に開催されることになりました。八十路を歩きはじめる私達です。今後寄り合う機会もまれになるでしょう。この機会を逃さず一人でも多くの参加を期待しています。重い腰を上げて集まりましょう。』

これは9月初めに私が第9回卒の同期生100名に届けた葉書の一部です。関東地区に居住する同期生が毎年企画して、関東を中心に同期生に1泊の小旅行を呼びかけています。今年も九州から参加し、総勢30名ほどが浜松に集まり旧交を温めました。

このような集まりはいくつかの同期会、同級会、部活同好会等で催されています。何よりも東京支部会、関西支部会、福岡支部会、熊本会など計画的に取り組みがなされ、同窓生としての絆を深める活動を展開されています。その事は誠に喜ばしいことで深く感謝いたしております。しかし、一方先々に対して不安を感じられることがいくつかあります。

一つ目は本部総会及び懇親会参加者の人数の減少です。

二つ目は各支部活動の維持、発展に関わることです。言い換えれば、会員、参加者の減少、活動費

の減少です。

三つ目は将来的に在校生徒数の減少に伴い若い同窓生の数の減少が見込まれます。

四つ目は同期生同士の繋がり、部活動における先輩・後輩の繋がり希薄です。

五つ目は近々に訪れる創立110周年記念事業の取り組みです。

これらのことについて、就任2年目を迎える同窓会役員一同、理事会や各支部と一体となって試案を作成し、同窓生の皆さんに呈示して参ります。

それに付けても大きな知恵袋であり原動力である理事会への参加状況です。即ち、毎回参加頂いている理事はほぼ固定し感謝いたしております。一方、未だに理事を選出できない回期もあります。(高校16期、19期、30期、47期、48期、51期、53期、54期、55期、56期、57期、58期、59期、60期、61期、62期) 母校に対する思いはそれぞれあることでしょう。しかし、母校の教室に、グラウンドに、部室に、学校のどこかに青春の歓喜や涙、躍動や沈滞、微笑みや憂い等当時をしみじみと述懐するシーンが残っていることでしょう。消せない過去でも確実に人生の1ページ。縦と横の爽やかな繋がりを財産として歳を重ねて行くのも素晴らしいことだと考えます。

最後に母校の益々の興隆と同窓会員の皆さん方のより一層のご健康、ご活躍、ご多幸をお祈りし、重ねて本会に対してのご協力を懇願して措辞ながらご挨拶いたします。



ごあいさつ

校長
前田 武男

御挨拶に先だちまして、本年7月の九州北部地方で発生した豪雨災害により、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。また避難されている皆様、復旧作業に従事されている皆様の安全と一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

本年度の人事異動で福岡県立玄界高等学校から転任して参りました校長の前田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。母校嘉穂東高校は今年創立107年目を迎えました。

新1年生240名を加え、全校生徒700名が日々、学業に部活動に熱心に取り組んでいます。また、藤江会長をはじめ同窓会の皆様には、日頃より母校発展のために御支援、御協力を賜り深謝いたします。

さて、5月30日に嘉穂高校との硬式野球定期戦が行われました。当日は晴天に恵まれましたが、季節外れの猛暑となり、34度まで気温が上がる中、筑豊緑地野球場に両校生徒並びに保護者、同窓生、そして地域の方々が約2000名応援に来場されました。これまでの対戦成績は大きく嘉穂高校に水をあけられてはいますが、全校一丸となって今年は勝利を勝ち取るため、1週間近く全校生徒は応援練習を積んで、この日を迎えました。

試合は初回先制点を取って、中盤まで4対1でリードしていましたが、終盤嘉穂高校に逆転を許してしまいました。それでも最終回、嘉穂高校を遙かに上回るスタンドからの応援が実り、9回裏満塁のチャンスにセンターオーバーのサヨナラタイム

リーヒットが出て、6対5で勝利しました。翌日の新聞にも「筑豊の早慶戦104回目も大熱戦」という見出しで熱戦が報じられました。定期戦についてはホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。

また、8月の残暑が続く中、全体練習を始め、9月9日にはさわやかな秋晴れの空が広がる中、体育祭を開催しました。生徒一人一人が、精神を研ぎ澄まし、集中力を高め、真剣に競技や演技に取り組む姿は、一人一人が輝き、みんなが輝き、感動の大きな輪で終了するものでした。そして朝早くから閉会式まで観戦に来られた多くの方々にも多くの感動を与えるものでした。改めて、本校の長い伝統の中で同窓生の皆様方が培ってこられた良き校風の普遍性を感じるどころでした。

最後になりますが、創学の精神に思いを致し、新たな伝統を創るべく、生徒・教職員一丸となって澆刺とした更なる一步を踏み出し、嘉穂東高校の更なる発展を目指し、微力ながら尽力して参りますので、今後とも御支援、御協力をお願い申し上げます。





嘉穂東高校のレポートです。
現在の学校の様子です。

第104回嘉穂東高校・嘉穂高校 硬式野球定期戦

平成29年5月30日(火)筑豊緑地球場で行われました。昨年は雨天中止でしたが、今年は晴天の中、熱戦が繰り広げられました。スタンドの大応援のもと、選手も大奮闘。試合は1点リードされた最終回に満塁で逆転タイムリーが飛び出し、6対5で嘉穂東高校の劇的なサヨナラ勝ちでした。



2017
5/30(火)

高文連筑豊支部主催スケッチ大会

平成29年9月16日(土)台風が接近する中、筑豊地区6校の高校生が、飯塚商店街を中心に思い思いの場所でスケッチしました。本校からは1年生4名、2年生2名の美術部員が、汚れてもいいような服装で参加し、熱心にお気に入りの風景を描きました。

地面に直接座ってスケッチしている生徒に椅子を貸し出して下さったり、絵の経験のある方がお声掛けして下さるなど、商店街の方の温かい御支援がありがたく感じる行事でした。



2017
9/16(土)

第38回吹奏楽部定期演奏会

平成29年9月18日(月)イイツカコスモスコモンで開催されました。選曲や構成等の企画は部員が中心となって行いました。部員数22名と少人数ではありますが、日頃の練習の成果を存分に披露してくれました。

多くの方々に来場していただき、会場全体が一体になった心温まる素晴らしい演奏会でした。

2017
9/18(月)





嘉穂東高校 母校の動き



教職員の異動

【転出】

(校長)	富田 博之	退職
(参事)	高瀬 吉次	退職
(副校長)	開田 徹	東鷹高校へ
(教頭)	吉田 昭二	田川高校へ
(国語)	佐藤 富美子	退職
(数学)	大串 秀博	筑豊教育事務所へ
(理科)	原田 弘実	八幡高校へ
(数学)	井上 健一	朝倉高校へ
(事務主査)	本田 慎悟	西田川高校へ
(主任主事)	中村 侑介	筑豊教育事務所へ

【転入】

(校長)	前田 武男	玄界高校より
(副校長)	吉永 高広	古賀特別支援学校より
(教頭)	稲富 広	古賀竟成館高校より
(事務長)	阿部 稔	田川科学技術高校より
(理科)	清田 正和	福岡県教育センターより
(数学)	麻生 晋扶	嘉穂高校より
(英語)	柴垣 尚孝	鞍手高校より
(国語)	水上 亜希	新規採用
(数学)	長尾 康大朗	新規採用
(英語)	合戸 裕一	新規採用
(事務次長)	藤野 秀雄	福岡県立図書館より

卒業生進路実績 ※合格者延べ人数

第69回生(平成29年3月卒業)

○国公立大学	4名
福岡県立大学	4名
○私立大学	243名
西南学院大学	11名
福岡大学	78名
中村学園大学	4名
東海大学	5名
東京工科大学	2名
神戸学院大学	1名 他
○私立短期大学	15名
○看護系専門学校	18名
麻生看護大学校	7名 他
○医療系専門学校	18名
○その他の専門学校	40名
○公務員	29名
国家公務員九州税務職	3名
嘉麻市役所	1名 他
○民間就職	7名

部活動実績(九州大会)

【水泳部】

■第79回末広杯全九州高等学校選手権

新人水泳大会 出場

■平成29年9月30日～10月1日

(鹿児島県鴨池公園水泳プール)

相浦 礼奈(2年)	50m自由形・100m自由形
嘉藤 史也(2年)	100m平泳ぎ・200m平泳ぎ
田中 咲都(2年)	50m平泳ぎ・100m平泳ぎ
花岡 風矢(1年)	50m自由形・100m自由形
祐下 笙汰(1年)	50m自由形・100m自由形
北原 春妃(1年)	50m背泳ぎ
	男子400mリレー
	男子400mメドレーリレー



表彰(命の大切さを学ぶ教室 全国作文コンクール)



平成28年10月に実施された、警察庁主催「第6回 命の大切さを学ぶ教室 全国作文コンクール」高校生の部 福岡県審査で、本校2年の重富 陸さんが県代表となる優秀作品に選ばれ、福岡県警察本部総務部長より表彰されました。重富さんは中学時代、所属していた放送部で飲酒運転撲滅の活動に取り組み、飲酒事故で肉親を奪われた被害者にインタビュー。遺族の話を聞くのはつらかったが、この活動を続けなければとの強い気持ちで最後まで番組を制作したそうです。



平成28年度 同窓会入会式

■平成29年2月28日(火)

卒業式の前日に、毎年同窓会入会式が開催されています。今年は236名の卒業生が晴れて同窓会の会員となりました。母校体育館は凜とした雰囲気の中で生徒たちの着席する姿勢も話を聞く態度も素晴らしいものがありました。富田校長・藤江同窓会会長の挨拶のあと、生徒代表の小田亮二君が入会のことばとして「嘉穂東高校で学んだことを生かしてこれからの進路へと旅立っていきます。そして、本校の卒業生としての誇りと同窓会の会員であるという自覚を持ち、日々精進していきます。」と力強く挨拶しました。

最後に、各クラスから2名ずつの「同窓会クラス幹事」が紹介されました。



嘉穂東高校同窓会奨学金授与式

同窓会給付型奨学金を創設する議案が平成27年1月13日の理事会で承認され、今回で3回目を迎えます。

今年は平成29年3月28日に母校校長室にて、校長推薦で選ばれた2名の生徒に藤江同窓会長より直接、奨学金が渡されました。(父兄同席のもと)。

この制度が、より高い目標を持ち努力を続けている生徒の一助になればと願っています。



高校47回生(平成7年卒) 同窓会委員への当番説明会

■平成29年2月14日(火)

役員会主催で、来年当番を迎える47回生の同窓会委員を迎え、当番の流れ(実行委員会準備から解散までの概要・組織図の例)を説明いたしました。

早めに声掛けをすることにより、10月の総会・懇親会で「次期当番生」としての準備が少しでもスムーズにいければと役員会主催で昨年より実施しております。また、今回は昨年当番が終了した45回生と、今年の当番46回生、それに一昨年当番の44回生の皆さんも同席され、今後の情報交換のための顔合わせも出来ました。

当番生の皆さんよろしくお願ひします。



還暦だより 高校27回生

還暦同期会を開催して

■27回生還暦同期会

事務局 須賀 敏文

■平成28年10月22日(土)

昨年10月22日に還暦の同期会を行いました。県外からの参加者16名を含み136人も集まりました!(あまりに多くて、会場が狭かったです)25人の物故者に黙とうを捧げた後は、久しぶりの再会に笑顔の花を咲かせました。「思い出クラスマッチ」「クラス写真撮影」「ジャンケン大会」「フォークダンス」…(フォークダンスは女子の希望です。2回も踊りました)あつという間の3時間!!



(時間オーバーで会館に迷惑をかけました)

次は、古希の同期会かな。



遠賀川上流古代祭 ～ヒミコを捜そう～

日時 平成29年9月3日(日) 10:00～16:00

会場 飯塚市穂波公民館

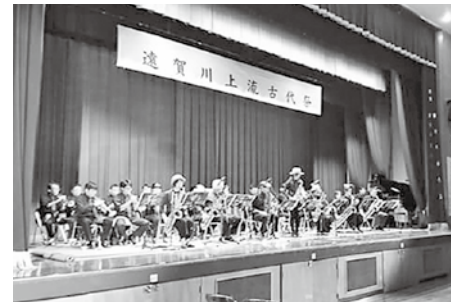
主催 遠賀川上流古代祭実行委員会(代表 藤江文雄氏:母校同窓会会長)

古代文化が栄えた遠賀川流域は古墳や遺跡がたくさんあります。魏志倭人伝に邪馬台国(やまたいこく)のことが記され、その中に出てくる不弥国(ふみこく)こそ、遠賀川上流にあったのではないかと。その仮説が唱えられるほど、この地には遺跡・遺物などが存在し、また多くの地理的条件に恵まれています。そしてヒミコもこの地にいたのでは…

当日、ステージでは歴史研究家の原田青夜氏、歴史学者の高島忠平氏、飯塚市歴史資料館館長の嶋田光一氏(母校25回生)の講演をはじめ、母校女子生徒による「御神楽」の他、I am Himiko(事前に応募された、わたしがヒミコの皆さん登場)、太鼓演奏・獅子舞・朗読・大型書道・ヒミコの歌演奏など披露されました。

また、体験コーナーでは、埴輪や土笛、勾玉づくり、火おこし、土器ひろいなど、古代の文化を多くの子どもたちが体験しました。

バザーコーナーでは母校同窓会の本年度当番46回生の皆さんがボタ山カラーなどの販売で参加、44回生の久保井英樹実行委員長(当時)もバルーンアートで会場の賑わいに花を添えてくれました。



新飯塚駅前に古代モニュメント完成

JR新飯塚駅前広場に、弥生時代の立岩遺跡から出土した国の重要文化財の前漢鏡を模した古代モニュメントが完成し、平成29年5月14日、片峯誠市長らが出席して除幕式がありました。

モニュメントは高さ3.25メートルで、最上段に実物の約6倍、直径90センチの前漢時代の「連弧文日有喜(ひゆうき)銘鏡」をいただく。筑豊9地区のライオンズクラブがクラブ100周年を記念して費用を出し合い、地元のアーティスト、其田(そのだ)正治さんに制作を依頼。作品は遠賀川上流古代祭実行委員会を通じて市に寄贈されました。



実行委員会の藤江文雄代表(母校同窓会会長)は「遠賀川流域は古代文化の宝庫。当時のエネルギーを今に生かしたくてモニュメントを制作した」と、片峯市長は「鏡には日々の平安を祈る気持ちが込められている。地域活性化のシンボルとして、末永く愛してもらいたい」とコメントされました。

除幕式には、中国から飯塚高校に留学している生徒24人も招かれ、その一人は「中国と日本が古代に深く結びついていたことを誇りに思う。これからの友好に私たちが役に立ちたい」と語りました。会員の皆さん、是非見に行かれてはいかがでしょうか。

同窓会支部だより

総会・懇親会・同期会

関西支部総会・懇親会・活動の報告

- 開催日:平成29年4月15日(土)
- 場 所:大阪キャッスルホテル3階 錦城閣
- http://www.geocities.jp/hoshi_soryuushi_0519/top.htm

絶好の桜日和の日、関西支部は第8回総会・懇親会を開きました。懇親会の中で「回生ごとの自己紹介」は、支部が最も大切にしているコーナーです。10回生のT.Hさんは、A3サイズの用紙にボタ山、蒸気機関車、新幹線の挿絵を描き、余白に寄せ書きを会場でお願ひして、画面いっぱい寄せ書きが集まりました。今年より関西で同期会を開催し、同時に関西支部総会に出席していただくという企画を8回生より始めました。来年は9回生へと続くことを期待します。

総会後の8回生同期会の奈良散策は良い天気と桜の満開で最高でした。〈写真:談山神社〉関西支部恒例の「歴史散策」は5月20日参加者19名で堺に行きました。新しくできた「さかい利晶の杜」で千利休、与謝野晶子を心ゆくまで学び、色々な寺を回りたっぷり汗をかきました。〈写真:南宗寺〉

支部長 田中 良一(高8回生)



▲8回生同期

▲南宗寺

▲奈良・談山神社



東京支部総会・懇親会の報告

- 開催日:平成29年5月27日(土)
- 場 所:品川プリンスホテル
- <http://www.kahohigasi.com/>

今年も当番学年の奮闘で、118名の参加者を迎えた盛大な総会を開催することができました。なかでも19回生(当番学年)からは29名の参加がありました。ここ10年間ほど足が遠のいていただけに、「同窓の埋もれ火」は赤々として残っていることを確信しました。

その参加者の声に「団塊の世代のわれわれ、振り返る間もなくひたすらに競争社会を走り抜けてきた。あれから何年経ったのか。この日ばかりは「懐かしい」などの陳腐な表現では収まり切れない。昔のあの時あの場所に、仲間と自分を探しに行く同窓会だった」とありました。

明年も「埋もれ火」の発火に努めていきたい。

支部長 中野 滋徳(高12回生)

福岡支部総会・懇親会・活動の報告

- 開催日:平成29年6月24日(土)
- 場 所:西日本新聞会館16階
- <https://kahohigashi-fukuoka.blogspot.jp/>

幹事一同、年頭初から、「今年こそ発足時の第1回総会の200名の参加者に到達すること」を合言葉に準備を進めて参りました。懇親会の途中気がかりであった参加者人数を確認したところ、遂に200名を超えていることが分かりました。冬の寒い頃から、幹事一同が手分けして参加呼び掛けを行った苦労が報われた瞬間でもありました。今年はアサヒビールの社長・会長を歴任され現相談役の荻田先輩(高12回)に、東京から来福頂き講話をお願いしました。

福岡支部懇親会の特徴は、先輩後輩問わず自由に壇上に上がり余技を披露する、博多特有の「博多どんたく総踊り」で参加者全員でシャモジを叩く、「博多手一本」で締めることにあります。

また、3月には第1回 福岡支部懇親ゴルフ大会「東芯会」を開催、次回はより多くの方にお声掛けをし、本部同窓会との「対抗戦」をやりたいね!と盛り上がりました。

支部長 田代 勝(高15回生)



同窓生の活躍

メイド・イン・オキナワの
吹きガラス文化を伝えたい。



ガラス工芸作家
斉藤 達也さん（平成4年卒・高44回生）

1973年 嘉穂町（現 嘉麻市）に生まれる
2002年より沖縄にて琉球ガラス「現代の名工」稲嶺盛吉氏に師事
2008年 嘉麻市に築窯「吹きガラス工房 琥珀」創立

吹きガラス工房 琥珀
嘉麻市牛隈1852番地2 TEL:090-3417-2322
<http://kohakuglass.com>



斉藤さんは沖縄で修行後、工房を構えるときに「ゆったりと流れる時間で心が落ち着く」と、生まれ育った嘉穂町（現 嘉麻市）を選び、数々の作品を生み出しています。

琉球ガラスは廃瓶を材料とするため再生の過程で気泡が入ることから本来ならガラス製品としては不良品扱いとなっていました。が現在では素朴な風合いや、優しく馴染む飲み口は琉球ガラス独特の魅力となっています。

自然豊かな環境で命を吹き込まれた作品は温かみにあふれ、ガラスの持つ無機質なイメージを変させる力強さや人間味があります。

◆取材を終えて

東高時代は弓道部の主将で県大会出場も経験。福岡大学時代はホテル日航福岡でアルバイトをしながら、かなり稼いで（笑）いたそうです。卒業後はホテルマンを目指していましたが、自転車で全国を旅しているときに沖縄の琉球ガラスに出会い、名工・稲嶺氏に猛烈にラブコールを続け、沖縄に移り住んでようやく数年かかって弟子入りが出たこと。

地元の酒蔵や飲料メーカーから廃瓶を調達して、その瓶からつくったガラスと冷酒のギフトセットは好評。吹きガラス体験会や県内外で個展やグループ展も定期的に開催。工芸展での入選も重なる。リサイクルやエコではなく、敢えて再生ガラスの風合いにこだわって、文化を継承し続ける素晴らしい同窓生が地元で活躍中です。



ごあいさつ

嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校
2017年度同窓会総会 実行委員会
実行委員長

戸田 徹 (高46回生)

空は深く澄み渡り、日増しに秋の深まりを感じる季節になりましたが、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校2017年度同窓会総会を開催するにあたり、当番幹事の高校46回生を代表いたしましてご挨拶申し上げます。

我々が入学した平成3年は、ジュリアナ東京がオープンし、世間で大騒ぎになった頃と言えば少しは時代背景が想像できるのではないのでしょうか。私は合格発表の際、受験番号「654」を見つけ、無事合格した喜びで思わずその場で絶叫してしまいました。その時に、玄関付近を掃除されていた多数の先輩方からバンザイで祝ってもらったこと、今でも忘れることのない思い出です。

また、480名の仲間と一緒に過ごした3年間、特に苦楽を共にした野球部の仲間とはたくさんの思い出を作ってきました。振り返ると、「めざせ!甲子園」で休みもなく朝から夜遅くまで泥だらけになった練習漬けの毎日でした。応援団を中心に同期生たちが公式戦や定期戦で必死に応援してくれた時のこと嬉しかったなあ。下校時にみんなで食べに行った長浜ラーメン・のがみ横のうどん・レディバードのバターライス、そして東天紅の焼き飯・・・憧れの甲子園出場という目標には遠く及びませんでした。仲間と過ごした毎日は、絶対に忘れることの無い良き思い出であります。そして、恩師の先生方のご指導により伝統ある校風の下、個性を伸ばしていくことができ、自分の中の芯というものを作れた3年間でした。

卒業後、様々な人生経験を積み、24年の歳月を経て当番幹事として仲間たちと再び集う日々は、学び舎で過ごしていた頃にタイムスリップした感じでした。昨年の夏より準備委員会を立ち上げ、久しぶりに再会した友とは、一瞬にしてその空白期間を埋めてしまうほど同期生の絆は貴重なもの

だと感じました。恩師や旧友、先輩後輩が一堂に会す大同窓会は、その集大成であり、卒業から時間が経とうとも、共に過ごして同じ釜の飯を食い、肩を組み合って苦楽を共にした仲間との想い一つ、魂一つ、在学時の熱い気持ちを持ち続けている限り、今でも青春時代なのです。2017年度同窓会のテーマ「熱男・熱女(あつお・あつこ)青春再点火!魂は一つに繋がっている」は、この日、この時間をともに過ごし、青春の炎を再び点火してこれからも青春を謳歌していただきたいとの願いからでありました。

当番生の仲間と力を合わせ取り組んできた長い準備期間、定例会で意見がぶつかり合い、熱く議論したことは1度や2度ではありませんでしたが、大同窓会を成功させるという想いは皆同じで、今日まで共に駆け抜けて参りました。本部役員の先輩方はもちろんのこと、44回生・45回生の先輩方をはじめ、諸先輩方よりアドバイスや様々な叱咤激励をいただき感謝の言葉しかございません。そして、各支部総会へのキャラバンで伺った際には、当番生への温かいおもてなしやご声援に感無量で勇気付けられました。この当番幹事の機会に、これまで先輩方が築いてこられた学校の歴史や同窓会の伝統に触れられたことは大変貴重な機会であり、嘉穂東高校のOBとして誇りに思います。今後は地域社会にこの恩返しができるよう、より一層精進を重ねてまいりますので、これまでと同様にご指導・ご鞭撻、そしてご支援・ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、大同窓会を開催するにあたり広告・協賛・物品購入いただきました全ての皆様に、ご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。皆様のもとにお伺いした際には、温かいご声援やご支援をいただき元気の出る思いでいっぱいでした。加えて母校である嘉穂東高等学校並びに同窓会が益々発展されますよう心よりご祈念申し上げ、実行委員会を代表しての挨拶とさせていただきます。

2018年度 総会・懇親会のお知らせ

2018.10.27(土) 総会 12:00~ 懇親会 13:00~
会場: のがみプレジデントホテル

スローガン: 「東風吹かせ! ~ともに永遠に~」

同窓会会員の皆様、当日は私たちが精一杯おもてなしさせていただきますので、より多くのご参加をお待ちしております。



2018年度実行委員長
久家 一昭 (高47回生)

本部役員 (H28.10~H30.9)

会長	藤江文雄	(高9)
副会長	永末英雄	(高20)
副会長	花元國雄	(高21)
副会長	井上 有比古	(高24)
副会長	小池千津子	(高27)
総務部長	近藤 哲司	(高31)
財務部長	榎本多賀子	(高30)
企画広報部長	伊藤 浩之	(高32)
監事	大塚 修一	(高19)
監事	尾籠 慎吾	(高31)

福岡支部役員 (H28.4~H30.3)

支部長	田代 勝	(高15)
副支部長	兒嶋 佳苗	(高18)
副支部長	岩佐 守	(高19)
副支部長	花岡 清利	(高19)
事務局長	小川 民夫	(高20)
幹事長	武谷 政道	(高21)
副幹事長	野見山 清豪	(高24)
広報局長	本田 博文	(高23)
会計	入江 裕章	(高21)
会計監査	淀川 雄治	(高21)
会計監査	藤 正敏	(高18)
会計監査	里 弘和	(高22)

東京支部役員 (H29.6~H31.5)

支部長	中野 滋徳	(高12)
副支部長(事務局長)	木之下 喜久子	(高15)
副支部長(渉外・会計)	伊藤 房憲	(高20)
事務局員(会計)	村山 夕紀子	(高20)
会計監査	野見山 照久	(高11)
会計監査	柴田 芳彰	(高22)
活性化委員長	徳 永 秀昭	(高11)

関西支部役員 (H28.4~H30.3)

支部長	田中 良一	(高8)
副支部長	荒牧 建蔵	(高15)
副支部長	長谷川 浩二	(高16)
事務局長	中村 英	(高11)
会計	伊藤 日出雄	(高21)
会計監査	花村 二郎	(高26)

同窓会事務局

事務局長 上村 浩朗 (高35)

本部だより

■同窓会会員名簿について

平成25年に名簿を発行して4年が経過しました。現在、会員数は30,000人を超えますが、正確な現住所が判明しているのは18,000人程度です。同窓会からの情報発信として、活動の報告および同窓生・母校の現状を会報誌に掲載し、発送させていただくためにも会員様の住所把握は会としても必要不可欠と考えます。5~6年ごとのデータ更新が望ましいので、次回発行時にはご協力をお願いいたします。

■年会費について

平成27年より同窓会会員の皆様から年会費3,000円をご納入いただく事が決定し毎年、趣意書と振込用紙を封書にて会員の皆様に発送させていただいております。同窓会のさらなる充実と財政基盤の確立、母校の発展のため、年会費納入につきまして皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

編集後記

42才が近づくと、「同窓会当番」の話が来ます。「忙しい・面倒だ・お金かかりそう」など不安があると思いますが、まずは、「久しぶりに高校時代の友人に会いに行こう!」のノリで参加してみてください。一生の財産となる友人が必ず増えます。そして、元気に活躍されている多くの先輩方に出会うことができます。

「東陵」に加え、同窓会公式ホームページでも最新のメッセージや多岐に亘る情報を発信してまいりますので、卒業生の活躍や同期会の報告、恩師の近況など皆様からの様々な情報をお寄せください。お待ちしております。

企画広報部

平成29年度 創立記念式典及び講演会 ▶2017年5月9日(火)

この創立記念式典は、年に1度、母校の長い歴史を振り返るひとつのきっかけとするために、毎年5月に開催されています。1910年創立の母校は、今年で107周年を迎えます。

■創立記念式典

前田校長の式辞では、創設者、伊藤傳右衛門氏が本校に寄せた熱情と業績を紹介され、学校について残した言葉で「伊藤が寄付した学校がつまらぬものであると言われたくない」という言葉を紹介されました。こうした創設者の思いに今後も応えられるような学校にしていきたいという思いを述べられました。

藤江同窓会会長は「本校の歴史と文化を学び、意識を高め、過去を知って未来に繋げてほしい」と励ましと期待のお言葉がありました。

次に校歌斉唱では、まず全校女子生徒による嘉穂高等女学校の校歌、そして全校生徒による嘉穂東高校の校歌が斉唱されました。

■創立記念講演会

講師：福岡大学 工学部 名誉教授

築地 武彦 (つぎじたけひこ) 氏：高校9年生

演題：「嘉穂東高校に育って」

目的を持って大学に進むことが大切。

「親が行けと言ったから」と自覚がない。そういう学生には、「1~2年、大学を離れて、思い切って海外に行ってみてはどうか」とすすめる。海外に出て日本人としてどうしたらいいかを考えてみる。お金がなかったら、休学して一旦仕事をする。1回社会に出て色々経験をする。大学に戻った時、講義要目も眺めてみると、この分野の勉強をしてみようかと興味をもつことができる。

人生は短い、若い時は二度とこないから大事にしてほしい。

ユニバーシティとは、総合学科があり自分の学科の必須科目以外に他に学科の講義を聞いてみることができる。興味があればその学科を申請して試験を受ければ単位ももらえる。「どの大学を卒業したか」より、「どんな学科、どんな内容を勉強したか」自信をもって社会に出て言えるような有意義な大学生活を送ってください。そうすれば、その先の人生も実りのあるものになります。

講演終了後は、生徒代表謝辞、花束贈呈、応援団からのエールを送りました。築地武彦氏のますますのご活躍を、嘉穂東高校・同窓会一同、お祈りしております。

東高時代は物理部、
部員全員で夏休みを返上、
TVの組み立てキットを
作成したそうです。



■ホームページのバナー広告募集について

公式ホームページの維持・管理費や同窓会運営財源の確保、同窓生相互のコミュニティ等を図ることを目的として、卒業生が在籍する企業・団体を対象に、バナー広告の掲載を承っております。掲載料は、年間10,000円(税込)と非常に安く設定いたしております。卒業生の皆様にはぜひ、ご検討くださいますようお願い申し上げます。



バナー広告企業のご紹介(50音順・敬称略)

常時
受付中!

- 株式会社アービックホームズ
- 社会福祉法人清和会 なつき保育園
- 有限会社アクセス
- レストラン太陽
- 飯塚信用金庫
- 株式会社ナカジマ建設
- 株式会社飯塚花市場
- 中嶋プロパン瓦斯株式会社
- 井上洋服店
- 株式会社ニッソー
- 今心株式会社
- (株)のがみ のがみ総合グループ
- WING
- (株)happiness 帆風
- エコモインターナショナル株式会社
- 福豊帝酸株式会社
- 大塚石材株式会社
- (有)プレジール
- 医療法人社団 親和会 共立病院
- (株)マクリー うめはうす
- 株式会社クボイ
- 村上ホーム株式会社
- 医療法人康和会 アイ歯科医院
- 吉岡スタジオ
- こすも葬祭
- 楽天生命保険株式会社代理店
- 有限会社コスモシステム福岡
- 佐藤伸一朗
- 佐野医院
- 株式会社リースキンサトー
- ジェンテックス・ジャパン株式会社

H29.9 現在

同窓会公式ホームページでは、同窓生の皆様からの情報をお待ちしております。

●同窓会公式ホームページアドレスは <http://kahohigashi-doso.net> です。

嘉穂東高校同窓会

